

『知っておきたい熱力学の法則と賢いエネルギー選択』

正誤表

この度は『知っておきたい熱力学の法則と賢いエネルギー選択』をご購入いただきまして、誠に有り難うございます。本書に以下の訂正箇所がございましたので、訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

箇所	P. xi (原著者プロフィール)
誤	<p>Joseph Powers (ジョセフ・パワーズ)</p> <p>1953～55年アメリカ陸軍化学部隊将校として、キャッスル作戦(マーシャル群島ビキニ環礁での水爆実験：第五福龍丸事件)、ティーポット作戦(ネバダ州)などの核爆弾計画の中で、線量測定、除染、観測を担当。1961年マサチューセッツ州立大学大学院高分子化学専攻(Ph. D)、国立標準局(NBS、現 NIST)(高分子物理)、アメリカン・シアナミド社(繊維材料研究)を経て、現在ユニテッド・エアクラフト社プラット&ウイトニー部門(燃料電池開発)及び、シコルスキー・エアクラフト部門(ヘリコプター材料研究)勤務。特許、技術論文多数。アメリカ物理学会及び化学会会員。</p> <p>高分子科学功績賞(1997)、高分子学会名誉会員(1999)、P. J. Flory Prize(2001)、ロシア科学アカデミー名誉学位(2006)、PPF Award(2007)。</p>
正	<p>Joseph Powers (ジョセフ・パワーズ)</p> <p>1953～55年アメリカ陸軍化学部隊将校として、キャッスル作戦(マーシャル群島ビキニ環礁での水爆実験：第五福龍丸事件)、ティーポット作戦(ネバダ州)などの核爆弾計画の中で、線量測定、除染、観測を担当。1961年マサチューセッツ州立大学大学院高分子化学専攻(Ph. D)、国立標準局(NBS、現 NIST)(高分子物理)、アメリカン・シアナミド社(繊維材料研究)を経て、現在ユニテッド・エアクラフト社プラット&ウイトニー部門(燃料電池開発)及び、シコルスキー・エアクラフト部門(ヘリコプター材料研究)勤務。特許、技術論文多数。アメリカ物理学会及び化学会会員。</p>

箇所	誤	正
P. 200	これは、役所の手落ちも絡んだ例にも見られる。 中略	これは、役所の手落ちも絡んだメキシコ湾石油 災害の例にも見られる。